

平成 22 年度麻布大学同窓会岩手県支部総会・研修会開催報告

岩手県支部の平成 22 年度総会・研修会が去る 11 月 20 日、あの「雄星」(花巻東高校出身 現西武)投手を輩出したことで有名になった地「花巻市」山の神温泉の「幸迎館」にて開催され、盛会裏に終了したことをご報告いたします。

大学からは、昨年度に引き続き、日頃より大変お世話になっている同窓会の紫野会長にご出席を賜り、大学の運営状況や同窓会の現状と今後の取り組みについて、詳細にお話をいただきました。日頃より、当支部においても同窓会の在り方について議論があったところでしたので、時宜を得たご報告となり、紫野会長にはあらためて感謝申し上げます。

また、恒例となっている研修会においては、北川睦氏(S62 卒 県中央家畜保健衛生所)から、「宮崎県で発生した口蹄疫」と題して、北川氏自身が、宮崎県で口蹄疫が発生している最中に実際に現場支援してきた経験を踏まえ、口蹄疫の症状や宮崎県における防疫対策の実態等について説明していただき、あらためて口蹄疫の発生が畜産業のみならず地域経済にも大きなダメージを与えるものと、その怖さについて再認識させられました。

総会は提出議案全て満場一致で承認されたものの、出席者は相変わらず少なくさびしい限りですが、今後、麻布大学への進学を考えている子供さんをお持ちの同窓会会員親子を対象とした、大学本部との連携による支援を支部活動の一つとして検討することとしたことなど、今までとは異なる同窓会運営に期待する皆さんの熱き想いを夜遅くまで語り合うことができ、思い出に残る支部総会ではなかったかと思っています。

(事務局:渡辺 亨 昭 57 卒)

